

## 山行報告書

日時	2025年 4月 5日(土)~7日(月)		天候	曇り・晴れ			
山名	脊振全山(十坊山・浮岳・女岳・羽金山・雷山・井原山・金山・脊振山・蛤岳・九千部山・基山)						
CL	T中	参加者	ひとみ、フジ、こーちゃん (総勢4人)				
(コース)	4/5 (土)		4/6 (日)		4/7 (月)		
	JR福吉駅	7:40	雷山小屋跡	6:00	蛤岳前	5:00	
	十坊山	9:10	雷山	6:35	蛤岳	5:30	
	浮岳	11:05	井原山	8:10	坂本峠	7:00	
	荒谷峠	11:50	三瀬峠	10:00	三領堺峠	9:00	
	女岳	12:20	城ノ山	11:00	九千部山	9:55	
	荒川峠	13:40	金山	12:25	大峠	11:05	
	羽金山	16:15	椎葉峠	15:10	柿の原峠	12:00	
	長野峠	18:00	脊振山	16:45	基山	14:00	
	雷山小屋跡	19:25	蛤岳前	18:30	JR原田駅	15:20	
	スピード	110-130%	スピード	110-130%	スピード	130-150%	合計
	距離	22.3km	距離	23.7km	距離	25.3km	71.3km
標高差(登り)	2340m	標高差(登り)	1751m	標高差(登り)	1165m	5256m	
標高差(下り)	1535m	標高差(下り)	1773m	標高差(下り)	1908m	5216m	
(コメント)	<p>以前からチャレンジしてみたかった脊振山系全山縦走。その山行計画に参加の機会を得て、福吉駅から原田駅までの山々を踏破してきました。未知の世界だったので不安でいっぱいでしたがリーダーのメンタルを強く持って、頑張りましょうの言葉で決心しました。全員一致団結して、何の不安感もなく、脱落することもなく72kmを無事に踏破することができました。自分への挑戦、そして達成感。ヘナチョコな私を同行して下さい、3人の先輩。補給に駆けつけて下さったSHさん、声援を下さった 皆様、有難うございました。</p>						
ひとみ							
フジ							
こーちゃん	<p>事前のリーダーのトレーニングと詳細なアドバイスがあり当日を迎えたのですが土曜日が雨で急遽ツェルトからテントを分散して持参になり重量が少し重くなりました。初日はH田さんの水と食料の補給があり大変助かりました。予定していた雷山の小屋付近に暗くなり到着しましたが風が強くてテントを張るのに時間がかかり、寝てる時は風もありとても寒かったです。2日目は距離も長く蛤岳まで行けるかと思われましたが皆で頑張り少し薄暗い時に到着しました、その夜もとても寒かったです。3日目は予定より早く出発したお陰で15時30分に原田駅に到着できました。1人では難しかったのですが皆で協力して完走出来たと思います。</p>						
T中	<p>以前から気になっていた脊振山系大縦走を踏破することが出来ました。3日ともに雨に降られることもなく、気候的にもそれほど汗をかかなかったことが、大変助かりました。ずいぶん昔に、1泊2日×3で全コースを歩いたことがあり、厳しいことは分かっていたのですが、3日続けて歩くときつさ倍増でした。その分、踏破した後の達成感は、半端ないです。ヘッドで歩いた長野峠から雷山への道。テント場に到着しての突風の中のテント設営。中々辛い経験でしたが過ぎてしまえば、良い思い出になりそうです。やはり、踏破出来たのは、リーダーT中さんを始め、フジさん、ひとみさんが一緒に歩いてくれたことに尽きます。それから、長野峠で水を中心に補給して頂いたSHさんには、本当に感謝です。まだまだ、元気に山登りを続けるぞ！ という気持ちにさせてくれた山行でした。</p>						
T中	<p>会山行として計画した脊振山系全山縦走を参加者が全員無事に踏破できたことがたいへん良かったと思います。今回、メンバーが自らトレーニングを積み、軽量化を工夫して参加されたので、リーダーとして何もすることはありませんでした。ひとみさん、フジさん、こーちゃんさんに感謝です。むしろいろいろ学ぶことが多かったのが気づいたことを以下に記します。          ・一日目、長野峠でSHさんに水やおにぎりを補給していただき、とても助かりました。それが無かったら、羽金山の下りの水場で水を汲まなければなりませんので、テン場到着がもっと遅くなっていました。会山行なら脊振山でも補給があっても良いと思います。          ・雨が予想されていたのでテントを持参して大正解でした。一日目の夜は暴風で、ツェルトは張れませんでした。雨だけでなく風にも対応できるようにしておく必要があります。          ・夜はたいへん寒かったです。自分がどれくらいの寒さに耐えられるのかを知り、必要なものを最低限ですませる知識と経験が必要です。この事は水や食事の種類と量でも同じです。</p>						

